

令和4年度 第3四半期

厚生年金保険給付組合積立金 管理及び運用実績の状況



公立学校共済組合

目次

令和4年度 第3四半期運用実績の概要	2
令和4年度 市場環境（第3四半期）	3
令和4年度 資産の構成割合	5
（参考）令和3年度 資産の構成割合	6
令和4年度 運用利回り	7
（参考）令和3年度 運用利回り	8
令和4年度 運用収入の額	9
（参考）令和3年度 運用収入の額	10
令和4年度 資産額	11
（参考）令和3年度 資産額	12
用語解説	13

令和4年度 第3四半期運用実績の概要

- 第3四半期末の積立金残高は 2兆3,065億円となりました。
- 第3四半期の修正総合収益率は $\Delta 0.64\%$ 、実現収益率は 1.17% となりました。
- 第3四半期の総合収益額は $\Delta 152$ 億円、実現収益額は 246億円となりました。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
時価残高	23,623	24,659	23,065	—	
(簿価残高)	20,673	22,040	20,903	—	
修正総合収益率	-2.46%	-0.72%	-0.64%	—	-3.76%
(実現収益率)	2.69%	1.02%	1.17%	—	4.89%
総合収益額	-612	-173	-152	—	-937
(実現収益額)	560	215	246	—	1,020

(注1) 収益率及び収益額は、当該期間中に精算された運用手数料等を控除したものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は、期間率です。

(注3) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

※ 情報公開を徹底する観点から、四半期ごとに運用状況の公表を行うものです。

年金積立金は長期的な運用を行うものであり、その運用状況も長期的に判断することが必要です。

総合収益額は、各期末時点の時価に基づく評価であるため、評価損益を含んでおり、市場の動向によって変動するものであることに留意が必要です。

令和4年度 市場環境（第3四半期）

【各市場の動き（10月～12月）】

- 国内債券：** 10年国債利回りは、期初よりほぼ横這いで推移しましたが、12月の日銀金融政策決定会合において、イールドカーブ・コントロール政策における長期金利の変動許容幅を拡大すると決定されたことを受けて、上昇（債券価格は下落）しました。
- 国内株式：** 国内株式は、円安に伴う好決算を発表した銘柄が相場をけん引したことや米国消費者物価指数の伸び率鈍化を背景にFRB（米連邦準備制度理事会）の利上げペース減速への期待が高まったことを受けて、上昇基調で推移しました。その後は、12月の日銀の金融政策修正による金利上昇を受け、円高が進行したことから外需関連銘柄などの株価が下落し、上昇幅は縮小しました。
- 外国債券：** 米国10年国債利回りは、インフレ指標の伸び率鈍化を背景に利上げペース減速への期待が高まったことを受けて、金利低下（債券価格は上昇）する場面もありましたが、物価の高止まりによる金融引き締め長期化懸念や12月の日銀による金融政策修正を受け、日本10年国債利回りが上昇したことなどから上昇しました。
- ドイツ10年国債利回りは、ECB（欧州中央銀行）の金融引き締め長期化懸念から金利が上昇する一方で、景気後退懸念による金利の低下などもみ合う展開が続いた後、12月のECBによる追加利上げや日銀の金融政策修正などを受けて上昇しました。
- 外国株式：** 米国株式は、インフレ指標の伸び率鈍化を背景にFRBの利上げペース減速への期待が高まったことで上昇しましたが、その後、FRBが政策金利見通しの引き上げを発表したことで金融引き締めの長期化による景気後退が懸念され、上昇幅は縮小しました。
- ドイツ株式は、ECBの利上げペース減速への期待や英国の財政悪化懸念の後退などから上昇基調で推移しましたが、12月のECBによる追加利上げや金融引き締め長期化を背景とした景気後退が懸念され、上昇幅は縮小しました。
- 外国為替：** ドル／円は、期初はFRBによる金利引き締め長期化懸念などから米国金利が上昇したことでドル高基調となりましたが、10月の日本政府・日銀による円買い・ドル売り介入や12月の日銀による金融政策修正を背景に、円高・ドル安が進行しました。
- ユーロ／円は、期初はECBによる大幅利上げ観測を受けた欧州金利の上昇からユーロが堅調に推移しましたが、その後は、欧州の景気後退懸念や12月の日銀による金融政策修正を受けた日欧金利差縮小を背景に円高・ユーロ安となりました。

○参考指標

		令和4年9月末	10月末	11月末	12月末
国内債券	10年国債利回り (%)	0.24	0.25	0.25	0.42
	TOPIX配当なし (ポイント)	1,835.94	1,929.43	1,985.57	1,891.71
国内株式	日経平均株価 (円)	25,937.21	27,587.46	27,968.99	26,094.50
	米国10年国債利回り (%)	3.83	4.05	3.61	3.87
外国債券	ドイツ10年国債利回り (%)	2.11	2.14	1.93	2.57
	NYダウ (ドル)	28,725.51	32,732.95	34,589.77	33,147.25
外国株式	ナスダック (ポイント)	10,575.62	10,988.15	11,468.00	10,466.48
	ドイツDAX (ポイント)	12,114.36	13,253.74	14,397.04	13,923.59
	イギリスFT100 (ポイント)	6,893.81	7,094.53	7,573.05	7,451.74
	ドル/円 (円)	144.75	148.64	139.54	131.95
外国為替	ユーロ/円 (円)	141.80	146.90	143.68	140.82

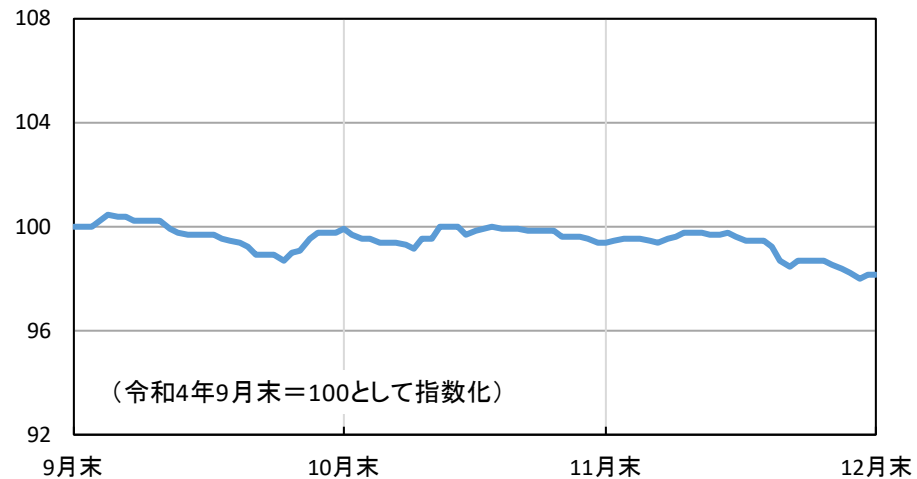
※ドル/円、ユーロ/円はWMロイター（ロンドン16時）

（ベンチマーク収益率）

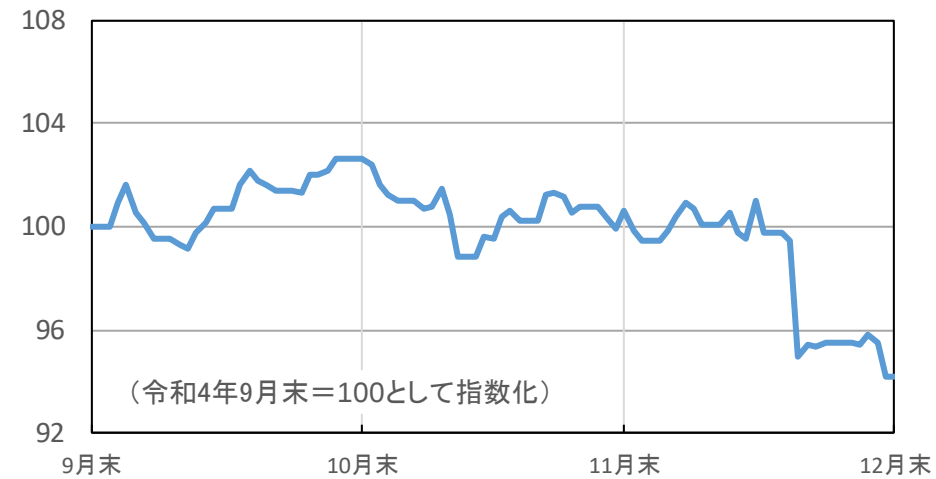
	令和4年10月～12月
国内債券 NOMURA-BPI総合	-1.88%
国内株式 TOPIX（配当込み）	3.26%
外国債券 FTSE世界国債（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）	-5.81%
外国株式 MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）	-0.01%

【ベンチマークインデックスの推移（10月～12月）】

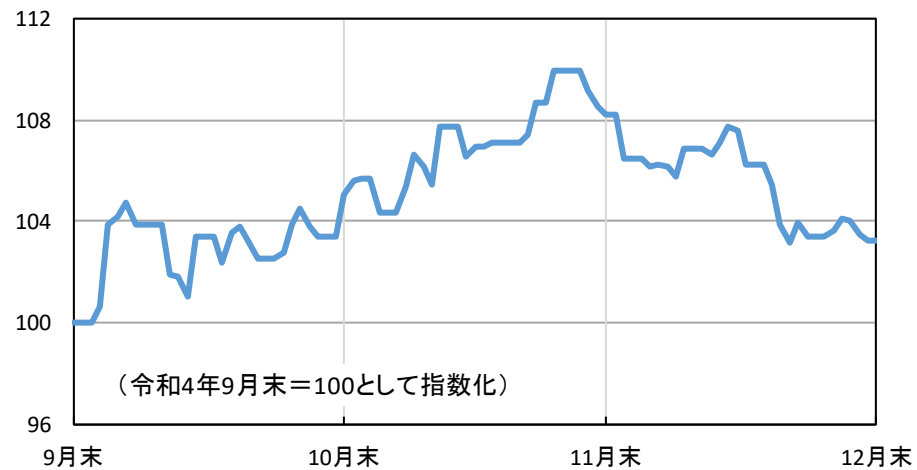
【国内債券】



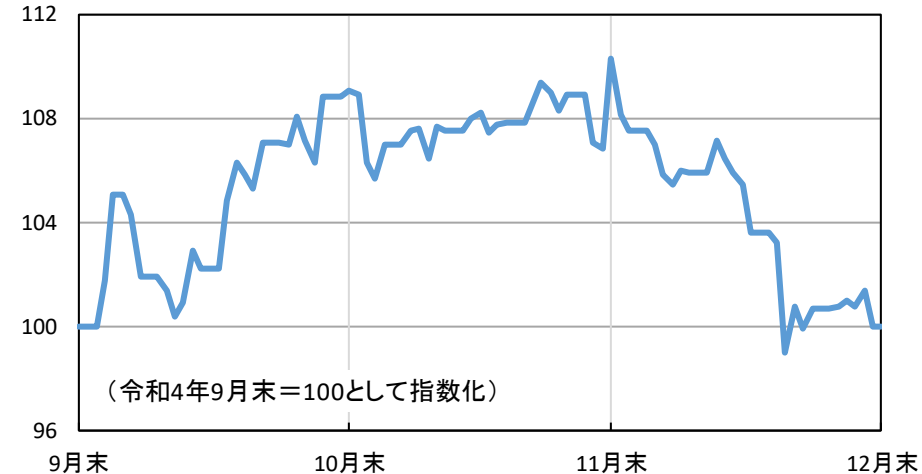
【外国債券】



【国内株式】



【外国株式】



（注）市場ベンチマークインデックスは以下のとおり。

国内債券：NOMURA-BPI 総合、外国債券：FTSE世界国債（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）

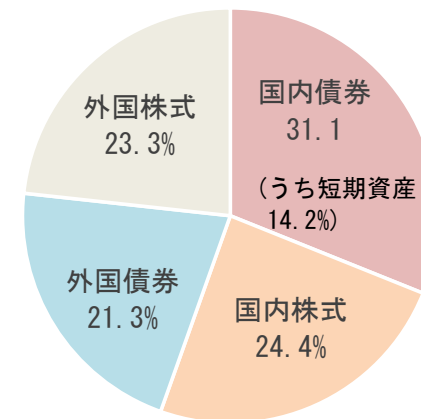
国内株式：TOPIX（配当込み）、外国株式：MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）

令和4年度 資産の構成割合

(単位：%)

	令和4年度			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	31.3	33.1	31.1	—
短期資産	(13.4)	(16.3)	(14.2)	—
国内株式	23.1	22.9	24.4	—
外国債券	22.4	21.1	21.3	—
外国株式	23.2	22.9	23.3	—
合 計	100.0	100.0	100.0	—

第3四半期末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%)、外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%) です。

(注2) 短期資産は国内債券に含めています。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

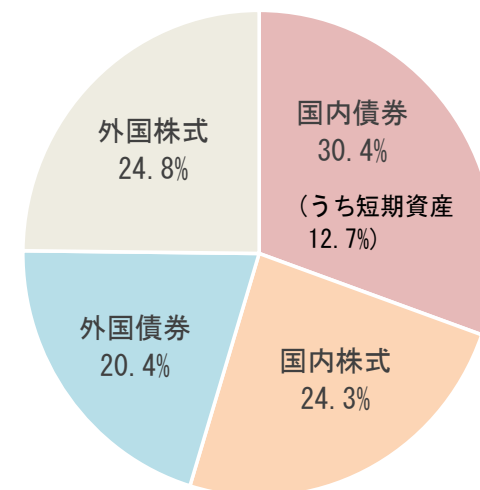
(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 資産の構成割合

(単位：%)

	令和3年度			
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	年度末
国内債券	32.0	32.2	29.7	30.4
短期資産	(13.0)	(14.4)	(11.9)	(12.7)
国内株式	23.4	24.5	24.2	24.3
外国債券	18.8	18.7	20.2	20.4
外国株式	25.8	24.6	25.9	24.8
合 計	100.0	100.0	100.0	100.0

令和3年度末 運用資産別の構成割合



(注1) 基本ポートフォリオは、国内債券25% (±20%)、国内株式25% (±12%)、外国債券25% (±9%)、外国株式25% (±11%) です。

(注2) 短期資産は国内債券に含めています。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

令和4年度 運用利回り

- 第3四半期の修正総合収益率は $\Delta 0.64\%$ 、実現収益率は 1.17% となりました。
- 資産別の修正総合収益率については、国内株式は 3.37% とプラスの収益となりましたが、国内債券は $\Delta 0.75\%$ 、外国債券は $\Delta 5.48\%$ 、外国株式は $\Delta 0.01\%$ とマイナスの収益率となりました。

(単位：%)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 率	2.69	1.02	1.17	—	4.89
修正総合収益率	-2.46	-0.72	-0.64	—	-3.76

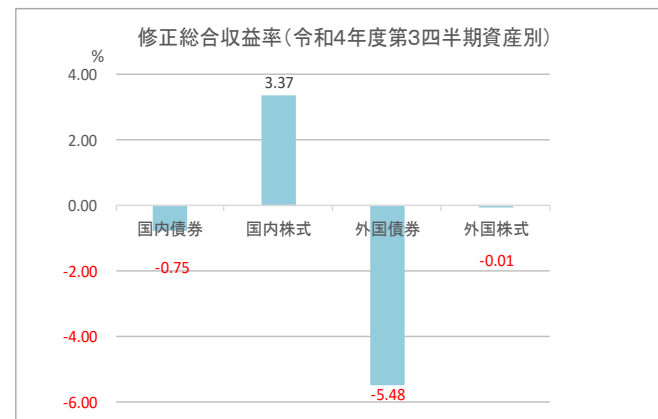
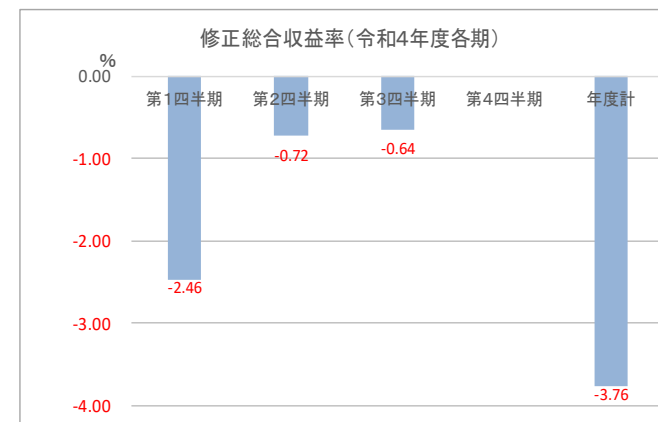
	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	-2.46	-0.72	-0.64	—	-3.76
国 内 債 券	-0.42	-0.28	-0.75	—	-1.45
短 期 資 産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	—	(0.00)
国 内 株 式	-5.02	-0.50	3.37	—	-2.33
外 国 債 券	2.54	-1.61	-5.48	—	-4.59
外 国 株 式	-6.57	-0.69	-0.01	—	-7.08

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期及び年度計の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 令和3年度 運用利回り

(単位: %)

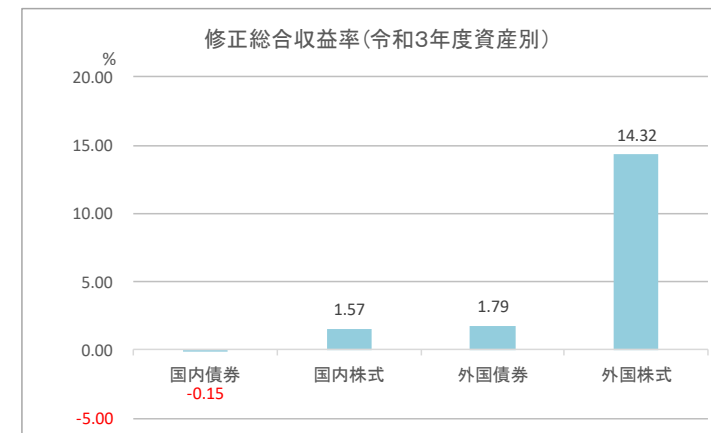
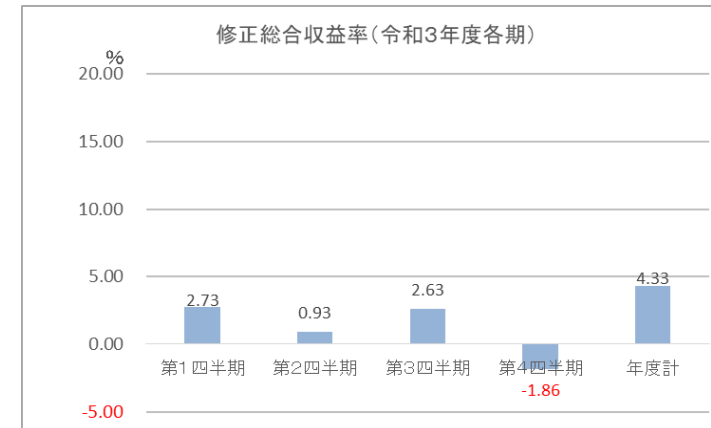
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 率	3.15	1.13	1.90	1.18	7.33
修正総合収益率	2.73	0.93	2.63	-1.86	4.33

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
修正総合収益率	2.73	0.93	2.63	-1.86	4.33
国内債券	0.44	0.07	0.02	-0.66	-0.15
短期資産	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)	(0.00)
国内株式	-0.17	5.68	-1.27	-2.30	1.57
外国債券	1.79	-0.88	2.59	-1.55	1.79
外国株式	8.83	-1.00	9.69	-3.11	14.32

(注1) 収益率は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 各四半期の収益率は期間率です。

(注3) 修正総合収益率は、実現収益率に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。



令和4年度 運用収入の額

- 第3四半期の総合収益額は △152億円、実現収益額は 246億円となりました。
- 資産別の総合収益額については、国内株式は 189億円とプラスの収益額となりましたが、国内債券は △54億円、外国債券は △287億円、外国株式は △1億円とマイナスの収益額となりました。

(単位：億円)

	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実 現 収 益 額	560	215	246	—	1,020
総 合 収 益 額	-612	-173	-152	—	-937

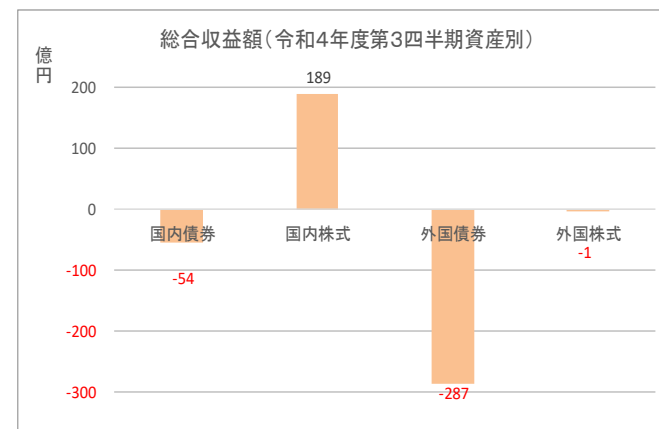
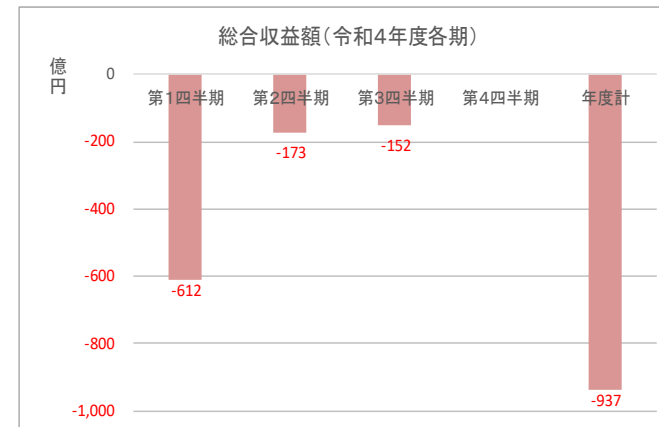
	令和4年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総 合 収 益 額	-612	-173	-152	—	-937
国 内 債 券	-31	-21	-54	—	-105
短 期 資 産	(0)	(0)	(0)	—	(0)
国 内 株 式	-302	-28	189	—	-142
外 国 債 券	132	-86	-287	—	-240
外 国 株 式	-410	-39	-1	—	-450

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注4) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。



(参考) 令和3年度 運用収入の額

(単位：億円)

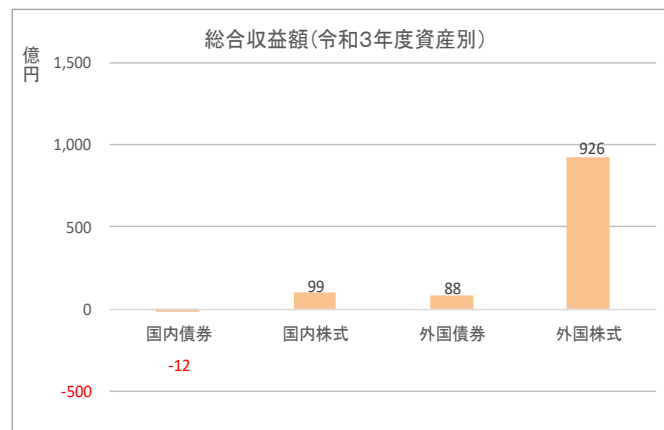
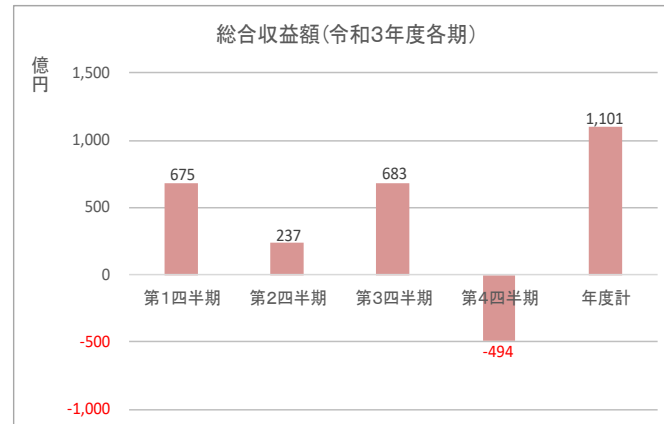
	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
実現収益額	638	235	406	256	1,534
総合収益額	675	237	683	-494	1,101

	令和3年度				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
総合収益額	675	237	683	-494	1,101
国内債券	33	5	2	-52	-12
短期資産	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
国内株式	-10	340	-83	-148	99
外国債券	83	-42	130	-83	88
外国株式	569	-66	634	-211	926

(注1) 収益額は、運用手数料控除後のものです。

(注2) 総合収益額は、実現収益額に時価評価による評価損益の増減を加味したものです。

(注3) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。



令和4年度 資産額

(単位：億円)

	令和4年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	7,234	7,383	148	8,040	8,172	131	7,094	7,169	76	—	—	—
短期資産	(3,167)	(3,167)	(0)	(4,015)	(4,015)	(0)	(3,279)	(3,279)	(0)	—	—	—
国内株式	4,728	5,467	738	4,973	5,639	666	4,880	5,620	739	—	—	—
外国債券	5,066	5,281	216	5,119	5,196	77	5,176	4,909	-266	—	—	—
外国株式	3,644	5,492	1,848	3,907	5,653	1,746	3,753	5,367	1,613	—	—	—
合計	20,673	23,623	2,950	22,040	24,659	2,619	20,903	23,065	2,162	—	—	—

(注1) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

(注2) 上記数値は速報値のため、年度末の決算等において、変更になる場合があります。

(参考) 令和3年度 資産額

(単位：億円)

	令和3年度											
	第1四半期末			第2四半期末			第3四半期末			年度末		
	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益	簿価	時価	評価損益
国内債券	7,616	7,969	353	8,181	8,515	334	7,529	7,844	315	7,580	7,812	232
短期資産	(3,247)	(3,247)	(0)	(3,802)	(3,802)	(0)	(3,143)	(3,143)	(0)	(3,258)	(3,258)	(0)
国内株式	4,489	5,830	1,342	4,838	6,470	1,632	4,970	6,387	1,417	5,077	6,239	1,162
外国債券	4,474	4,694	220	4,799	4,952	153	5,091	5,332	241	5,143	5,249	106
外国株式	3,763	6,441	2,678	3,982	6,500	2,518	3,935	6,833	2,898	3,821	6,372	2,551
合計	20,341	24,934	4,593	21,799	26,436	4,638	21,525	26,396	4,871	21,621	25,673	4,052

(注) 上記数値は四捨五入のため、各数値の合算は合計値と必ずしも一致しません。

用語解説（50音順）

- 基本ポートフォリオ
統計的な手法により定めた、最も適格と考えられる資産構成比（時価ベース）です。
- 許容乖離幅
資産構成比が基本ポートフォリオから乖離した場合には、資産の入替え等を行い乖離を解消することとなります。しかし、時価の変動等により小規模な乖離が生じるたびに入替えを行うことは、売買コストの面等から非効率であるため、基本ポートフォリオからの乖離を許容する範囲を定めており、これを許容乖離幅といいます。
- 厚生年金保険給付組合積立金
組合が厚生年金保険給付のため管理運用する積立金です。
- 修正総合収益率
時価ベースで運用成果を測定する尺度の1つです。実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加え、時価に基づく収益を把握し、それを元本平均残高に前期末未収収益と前期末評価損益を加えたもので除した時価ベースの比率です。算出が比較的容易なことから、運用の効率性を表す時価ベースの資産価値の変化を把握する指標として用いられます。
(計算式)
$$\text{修正総合収益率} = \left[\text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減（当期末未収収益－前期末未収収益）} \right. \\ \left. + \text{評価損益増減（当期末評価損益－前期末評価損益）} \right] \div \left(\text{元本平均残高} + \text{前期末未収収益} + \text{前期末評価損益} \right)$$
- 総合収益額
実現収益額に資産の時価評価による評価損益増減を加えることにより、時価に基づく収益把握を行ったものです。
(計算式)
$$\text{総合収益額} = \text{売買損益} + \text{利息・配当金収入} + \text{未収収益増減（当期末未収収益－前期末未収収益）} \\ + \text{評価損益増減（当期末評価損益－前期末評価損益）}$$
- ベンチマーク
運用成果を評価する際に、相対比較の対象となる基準指標のことをいい、市場の動きを代表する指数を使用しています。

組合で採用している各運用資産のベンチマークは以下のとおりです。

- ・ 国内債券

NOMURA-BPI 総合

野村證券株式会社が作成・発表している国内債券市場の代表的なベンチマークです。

※ NOMURA - BPI 総合（以下「対象インデックス」という。）は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は同社に帰属します。

なお、同社は、対象インデックスを用いて行われる当組合の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。

- ・ 国内株式

TOPIX（配当込み）

東京証券取引所が作成・発表している国内株式の代表的なベンチマークです。東証第一部の基準時の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。

※ TOPIX配当指数の指数値の標章は、東京証券取引所の知的財産であり、この指数の算出、指数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利及びTOPIX配当指数等の標章に関するすべての権利は東京証券取引所が有します。

- ・ 外国債券

FTSE世界国債インデックス（除く日本、中国、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCが作成・公表している、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスで、国際債券投資の代表的なベンチマークです。

※ このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

- ・ 外国株式

MSCI ACWI（除く日本、円ベース、配当込み）

MSCI Inc. が作成する日本を除く先進国及び新興国で構成された株式のベンチマークです。

- ベンチマーク収益率

ベンチマークの騰落率で、いわゆる市場平均収益率のことです。